



# 中学生海外派遣事業



— Come on everyone, get used to it rather than learn it! —

## 8月3日(土)

佐賀支所において、10泊11日の日程でニュージーランド(以下、NZ)に研修旅行に出發する派遣団【生徒(大方中6名、佐賀中4名)、引率者4名】の壮行会を開催。気持ちはすでにSouthern Cross待つ南半球へ。

**Let's go to NZ!**



佐賀支所での壮行会の様子



## 8月4日(日)

成田空港からオークランド空港まで約9時間30分のフライト。午前9時15分到着。機内泊のため寝不足の感は否めないものの、全員元気にNZ入り。ちなみに、日本時間は午前6時15分(時差3時間)。

オークランド空港から、ハミルトン市内にある「フェアフィールド中学校」へは昼食や研修をはさみ、さらにバスに揺られること数時間。さすがに疲れはピークに。

時刻はすでに午後4時。生徒は、はにかみながらも、出迎えてくれたホストファミリーへ英語によるあいさつと自己紹介。その後、期待と不安を胸に、それぞれのホストファミリーの自宅へと向かいました。

果たして、ホームステイ先での国際交流やいかに。

**Your daily immersion in English begins!**

## 8月5日(月)

いよいよ日本語がほぼ役に立たない世界。歓迎式では、ラグビーNZ代表「オールブラックス」が試合前に必ず行う「ハカ」での歓迎。そして、黒潮町の生徒からは、「町の紹介」と「よさこいソーラン」のパフォーマンスを披露。拍手喝采。

**熱烈な歓迎とよさこいソーラン**



黒潮町の紹介の様子

よさこいソーランでポーズ

女子による歌と踊りの歓迎

ホールに満員の生徒

## 8月6日(火)~9日(金)

フェアフィールド中学校での授業は、1時限90分で3時限。日本と比べ休み時間も長く、1時限目終了後、何と30分間の軽食タイム。授業や休み時間は、かなり自由度が高いものの、教室を移動する際は、友人と会話することなく、隊列を組み次の教室へ。



授業の様子

教室への移動の様子

遠足での勇ましい姿

オリエンテーションの様子

## 8月10日(土)~13日(火)

生徒は、「習うより慣れる」で取り組んだ研修を無事終え、歴史・文化、教育・芸術など、国際交流の実践を通し、最後に手にした証明書。

そして、一行はハミルトンからロトルア、オークランドの視察研修へと出發。



Certificate OF ACHIEVEMENT

### 男子生徒A

ある生徒は、「ホストファミリーには自費で来年また来ることを約束しました。高校卒業後は、海外の大学へ進学したいと思っています」と、大きな夢を吐露。

天晴! 夢は無限大∞

最後に、今回の研修に参加した生徒には、この貴重な経験を活かし、やがていつの日か、故郷に貢献してくれる人材に、そして何よりも、残念ながら研修に参加できなかった“友”がいたことは、忘れないでほしい。

**I want to go to NZ again someday!**

P.S. 帰国後、成田空港のレストラン街で見た「お茶漬け屋」の食事風景が何と眩しかったとか。日本の食文化を再発見。これぞまさしく、国際理解ではなかるうか!



オークランド博物館でハイチース!

派遣団団長  
教育長 宮川 雅一

佐賀中学校 3年 澳本 小町

今回の研修でニュージーランドの文化に触れ、たくさんの人と出会い、たくさんを感じ取ることができました。ホームステイ先や学校で人と関わり自分の意見を伝えることの大切さや、楽しさを学ぶことができました。日本では思っていることがあっても遠慮して言えなかったり、人にどう思われるかばかりを気にして自分の意見があっても言わずに過ぎてしまうことが多々ありました。ですが、この研修を通して自分の意見をしっかり持ち伝えるのは大切なことだし当たり前なことだと気づくことができました。

学校訪問では、文化の違いに驚かされることがたくさんありました。当たり前だと思っていたことが当たり前ではなかったり文化や習慣の違いに驚かされ刺激的な毎日でした。この経験をこれからの自分の人生に活かしていきたいです。

最後にこのような素敵な体験をさせていただきありがとうございました。



佐賀中学校 3年 川崎 麻白

私は、今回の海外派遣事業で貴重な体験をさせていただき、多くのことを学びました。

私は英語が得意ではないので英語を話せるか、ホストファミリーはどんな人たちなのかという不安がありました。いざホームステイをしてみると、初日は言葉も聞き取れないことが多く、大変でしたが、ホストファミリーが聞き取れなかった時はゆっくり話してくれたり、家にある家具の単語を教えたり、日本とは気候が違うので気にかけてくれたりと、とても親切で優しい人たちだったので安心しました。初日は理解することができなかった言葉も、6日間ホームステイをすることでだんだんわかるようになり自分からも積極的に話しかけることができるようになり、マオリの文化にも触れさせてもらうことができ、とても充実した6日間を過ごすことができました。海外派遣の良さを後輩に伝えていきたいと思います。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

佐賀中学校 3年 永森 葵向

今回の海外派遣事業を通じて世界を見る目が変わりました。メディアなどで知っていることと実際に現地へ行って体験することでは違うことや新しく知ることばかりでした。また異なる文化や異なる言語でも相手を尊重できることがわかりました。学校の授業科目で英語がある意味や言語を学ぶ楽しさにも気づけました。中学生の時期にこのようなことを経験し、知ることができたことは僕にとって大きな財産になりました。今この考えが持てることや価値観を広げ、成長することができたのは町の皆さんのおかげなので本当に感謝しかありません。これからは「物」などではなく「経験」にお金を使っていき、自己成長をさせたいです。また、これからはニュージーランド(異国)に行き新しく知れたこと感じたことなどをたくさんの人に発信していくことや、黒潮町の活性化に向けて今自分ができることに取り組んでいきたいです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

佐賀中学校 3年 濱口 祈乃

今回ニュージーランドの派遣事業に行き、たくさんの人たちや文化、またたくさんの方に自然に触れながら体験することができました。ホストファミリーやバディたちと会う時も最初は緊張していましたがみんなが笑顔で優しく私たちを受け入れてくれたおかげで楽しくてあっという間の時間でした。英語での会話はスピードが速くて大変だったけど、だんだん単語などが聞き取れるようになり、自分で英語を話してみても相手に伝わった時は自分で成長を感じとてもうれしくて、たくさんの人と会話できたことは自分に自信が持てる一歩になったと感じます。学校での生活に戸惑いもありましたが、今までは写真などでしか見たことなかった場所、文化などを自分の目で実際に見ることができて本当によかったです。この研修で知った色々な人たちと交流をする楽しさを忘れずに、英語をもっと頑張ります。貴重な体験を与えてくれて本当にありがとうございました。



大方中学校 3年 谷 心花

この海外派遣を通して数多くの国の人々が共通語の英語というものを通して、コミュニケーションをとり、素敵な時間を送れたことに、私は心から感動しました。

宗教、文化、生活、国籍、外見など一人ひとり違って当たり前です。このような違いをニュージーランドの人々は互いに受け入れ、数多くの国の人々が共存して暮らして行くことが不便なのではなく、居心地のいい場所だと感じました。マオリ文化や数多くの素晴らしい自然とも触れることができ、一生忘れることのない素晴らしい経験となりました。

この海外派遣で私はさらに1歩成長することができたと思います。国境を越え、たくさんの人々と生活していくなかで、さまざまな視点から多くのことを学び、吸収することができました。ニュージーランド研修に行き終りなのではなく、これから未来を担っていかねばならない私たちにとって、ここでの学びをどんな小さなことからでも、行動へと移し、自分の将来へとつながりのあるものになりたいです。

大方中学校 3年 ハジフ 琉馬 マーカス

小学校から夢見た派遣生に選出され、父の生まれ育った国に自分も行けるといことでものすごい期待やワクワクを胸に日本を旅立ちました。現地の学校で感じたことは、みんなとてもフレンドリーなことです。初めて会うのにいきなりハイタッチやハンドシェイクを交わしたり、遊びに誘ってくれたり、たくさん話しかけてくれました。僕が聞き取れなくて何回も聞き返してもゆっくり発音してくれたり、違う言葉に置き換えてくれたりなどすごく優しい人たちがばかりでした。みんな自己主張が強いのも印象的でした。NZの生徒はハカや歌でも恥ずかしがらずに前向きに自分を表現していました。また、NZでは違う国籍や人種の人にもなんの偏見なく関わってくれました。偏見がなく自由に自分を表現する文化は日本も見習うべきだと思いました。今回の派遣で、ほかの国での当たり前や考え方などさまざまなことを体験し、広い視野を得ることができました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

大方中学校 3年 村越 藍

私は、8月3日から8月13日までニュージーランド研修に行きました。今回の研修では、何をすることも初めてで楽しみな気持ちの反面緊張感がとても大きかったです。

しかし、ニュージーランドの方たちは優しく明るい人ばかりで特にフレンドリーでした。ホームステイの家族やフェアフィールドの生徒たちは私たちをすごく歓迎してくれて、とても過ごしやすかったです。視察研修では、マオリ独自の文化や生活を見えるところへ連れていってもらいました。マオリで有名の「ハンギ」料理を食べました。ニュージーランドは本当に自然豊かで、日本では見れない最高の景色が広がっており素敵な所ばかりでした。また行きたいと心から思いました。

この研修を通して、他国のすばらしい文化に触れたり生活について沢山知る事が出来ました。この経験を今後の将来に活かしていきたいです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

大方中学校 3年 濱口 嵐

8月3日から8月13日までニュージーランド研修に行きました。行く前は、自分の英語を分かってくれるかやニュージーランドの文化に対応していけるのかななどの不安がありましたが、ホストファミリーや学校の生徒たちはフレンドリーに接してくれてとても安心しました。ニュージーランドでは、自分から話しかけるのに緊張していると相手から優しく話しかけてくれ、ジェスチャーや英語を使ってコミュニケーションをとっていくことでたくさんの人と仲良くなることができました。

この研修を通して、たくさんの人と出会い、ニュージーランドの文化や自然を体験できました。英語だけの生活のなかで、自分の英語力の足りなさを感じ、もっともっと勉強が必要だと感じました。本当に貴重な体験ができました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

大方中学校 3年 樋口 琴子

私は11日間、ニュージーランドに研修に行きました。海外に行くのは初めてで、周りが全て英語という環境に始めは慣れませんでした。でも、ホームステイ先の家族がとても明るくて、放課後にどこかに連れて行ってきて楽しかったです。ニュージーランドの学校では、日本と違うところがたくさんあって戸惑うこともあったけど、生徒が元気で学校全体、生徒全体がカラフルな印象でした。そして、ニュージーランドでも日本と同じように、笑い合う時が一番幸せでした。

この研修を通して、人とつながることの楽しさを実感しました。言葉は違ってもともに笑えたり、受け入れ合うのがすごく素敵なことだと思いました。また、この研修をきっかけにこれからもっとたくさんの方を見てみたいと思いました。こんなに充実した、特別な経験をさせていただいた黒潮町に感謝しています。この経験は一生忘れません。

大方中学校 3年 吉田 ムイ

私は、海外派遣事業に参加させていただき11日間をニュージーランドで過ごしました。

ニュージーランドでは、さまざまな体験を通して、自然や文化などをとても大切にしていることを見て体で感じる事ができました。

また、私たちは現地の学校に通いました。日程や授業、休み時間の過ごし方などが日本と大きく異なっていました。生徒も社交性と主体性を持っていてとても活気強かったです。自由にありのままの自分で人生を楽しんでいるように一緒にいてとても楽しかったです。

ホームステイ中や学校では、日本語を話す機会が非常に少ない状況でした。そのせいかスピーキングやリスニングの力が伸びたように思います。外国の方と交流し声に出して英語を学ぶことが大切だということに身染みて感じました。

今回の研修は、私の視野や将来の可能性を大きく広げてくれるものになりました。関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

ニュージーランド